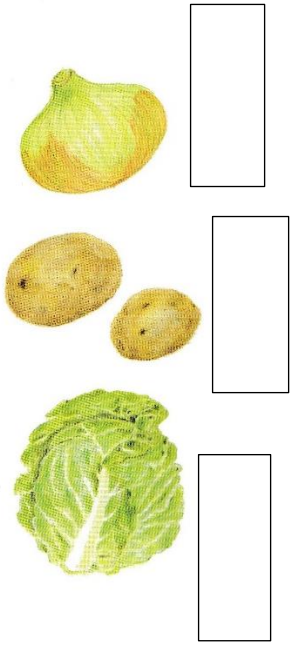
国語　教科書三六、三七ページ「春のくらし」①　　名前【　　】

◇「みどり」の詩を読んで、書きうつしましょう。

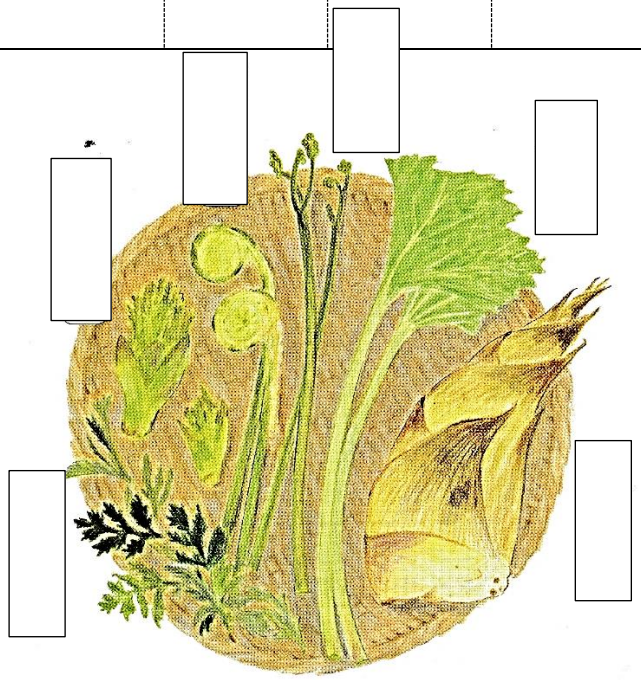
みどり

内田（うちだ）　麟太朗（りんたろう）

◇春には、「新」や「春」がつく　やさいがたべられます。みずみずしく、やわらかいとされています。□に名前を書きましょう。



◇山菜や、野原で見かける草などにも、春らしい食べものとして　知られているものがあります。□に名前を書きましょう。



国語　教科書三六、三七ページ「春のくらし」②　名前【　　】

◇春をかんじる言葉をあつめよう。（十こいじょう）

（れい）わかば、たけのこ、のらぼう、新たまねぎ・・・

◇みの回りで見つけた「春」について、文章を書きましょう。

少し前ですが、のらぼうをもらったので、ゆでて食べました。のらぼうは、やわらかくて、あまみもあっておいしいです。学校のまわりに、のらぼう畑やのらぼうを売っているお店を見ます。のらぼうを見ると、春だなあと思います。

（せき口　みなこ）

国語「漢字の音と訓」①

名前【　　】

1　教科書三十八、九ページを声に出して読みましょう。

2　線の漢字の読み方を書きましょう。

今日は、朝早くおきて、
ゆっくり朝食をとった。

3　（　　）に合う言葉を入れて読みましょう。

漢字の読み方には、（「　　」）と（「　　」）があります。

「音」読みは聞いただけでは意味のわかりにくいものが多く、

「訓」読みには、聞いてすぐに意味の分かるものがたくさんあります。

漢字は、はるか昔に（　　）で生まれました。

たとえば、「音」読みで「山」は（　　）と読み、

「訓」読みでは「山」は（　　）と読みます。

国語「漢字の音と訓」②

教科書三九ページ

名前【　　】

1　　の線の言葉では、音と訓のどちらが使われているでしょうか。

（　）に音または訓を書きましょう。

・県道ぞいに、有名な公園がある。（　　）

・氷がとけて水になる。（　　）

・一分は六十秒だ。（　　）

・農家のおじさんに話をきく。（　　）

・毎日、野球ののれんしゅうをする。（　　）

・ゆうびん局までの近道を教える。（　　）

2　次の漢字の音と訓をどちらも使って、文を作りましょう。

〈れい〉小学校で、小さいねこを見た。

・下　・回　・切　・楽